

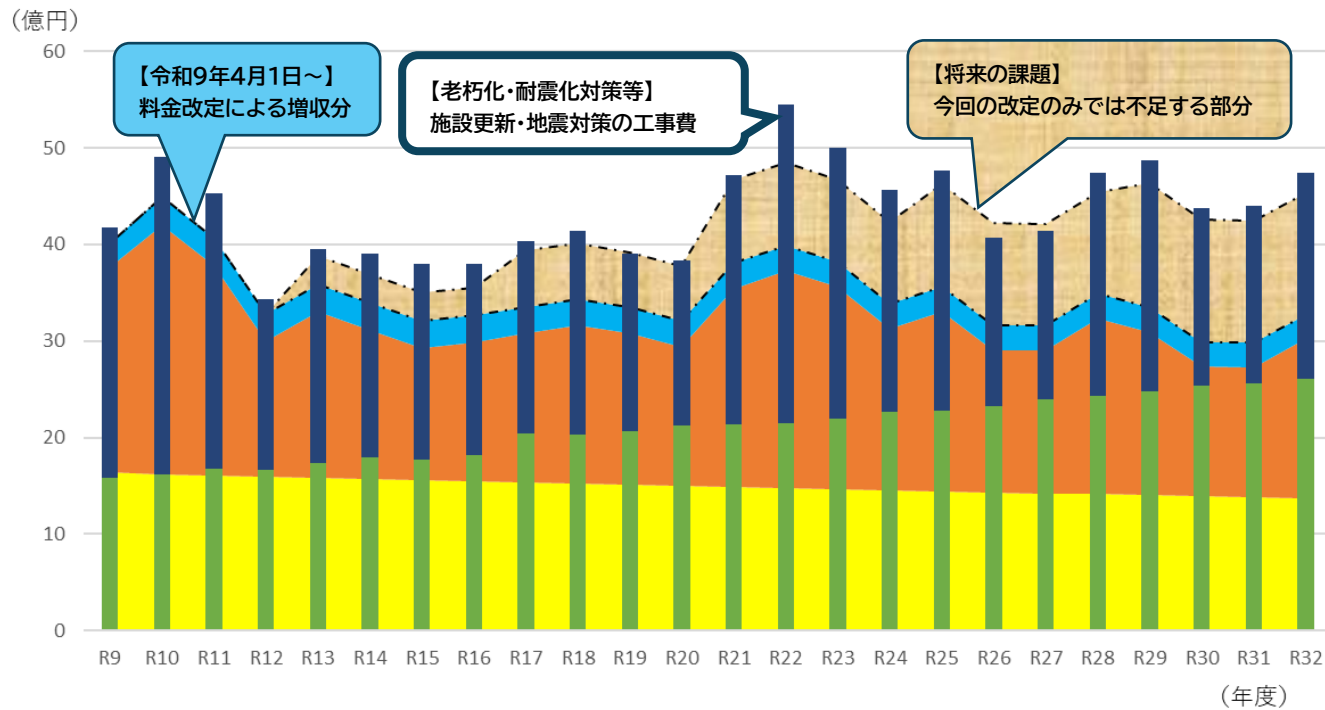
飯田市水道事業収支見込イメージ(令和9年度～令和32年度)

支出：棒グラフ

- 水道水を作り配る費用（維持管理費等）
- 施設の老朽化対策や耐震化等の事業費等

収入：面グラフ

- 現在見込める料金収入
- その他の収入
- 令和9年4月1日料金改定による増収分
- 今回の改定でも不足する部分



●支出：棒グラフ



水道水を作り配るための費用は、物価高騰等の影響により増加していく見込みです。



施設の老朽化対策や耐震化等の事業費も、物価高騰等の影響により増加するため、可能な限り工事の平準化などの工夫を行っています。事業内容により年度間で事業費に変動が生じます。

●収入：面グラフ（棒グラフの背景です）



現在見込める料金収入は、今回の料金改定を行わなかった場合の見込みで、人口減少やライフスタイルの変化により減少傾向にあります。



その他の収入のうち、国庫補助金や企業債（借金）等は、施設の老朽化対策や、耐震化の事業費にあわせて、資金調達や積立金の取崩しを行うため、年度により変動があります。



+ 今回の料金改定を行わない場合、令和32年度までに不足が見込まれる部分で、約226億円となります。



このうち、令和9年4月1日からの平均18%改定をお願いすることで、将来的に増額が見込まれる料金収入です。



今回の料金改定を行ってもなお将来的に不足する額です。今後、4年ごとに収支の検証を行い、必要となる料金改定を検討していきます。